

柳谷町内会が県民表彰を受賞



県議会議場で行われた県民表彰の表彰式

串良町上小原の柳谷町内会が平成18年度の県民表彰（社会活動部門）を受賞しました。同町内会では、『行政に頼らない地域づくり』を掲げ、平成9年から住民総参加で独自の活動をスタート。その活動内容は幅広く、土着菌の製造をはじめ、さつまいもの生産やオリジナル焼酎「やねだん」の開発、さらに、そば店の経営などに取り組んで独自

の活動資金を確保。この資金をもとに独居老人宅への緊急警報装置や全戸への防犯ベルの設置、このほか、子供たちの学力向上を図るための「寺子屋」の運営や昔の日常品を集めた「お宝歴史館」等の施設整備など、様々な取り組みを積極的に展開してきました。今回の県民表彰は、これらの先駆的な取り組みが高い評価を受け受賞したもので、11

月2日に県庁の県議会議場で開催された表彰式には、同町内会の豊重哲郎会長と西倉正人副会長が出席。伊藤鹿児島県知事から表彰状を受け取った豊重会長は「町内会のみならず流した汗への評価です。これからの活動の大きな励みになります」と受賞の喜びを語りました。



11月9日、柳谷町内会の役員が市役所を訪れ受賞の喜びを報告しました。

みんなでつくる鹿屋市総合計画づくりがスタート



11月27日に開催された第一回鹿屋市総合計画審議会。

平成18年1月1日に、新「鹿屋市」が誕生したことに伴い、これからの10年間の都市の将来像や、まちづくりの基本方針などを定める「鹿屋市総合計画」の策定に着手しました（計画期間は平成20年度から平成29年度まで）。今後、この計画に基づいて、福祉や教育、産業振興など、あらゆる行政分野の計画や事務事業が行われることとなります。

計画の策定に当たっては、市民アンケート調査や住民説明会の実施、公募による「市民会議」を設置するなど、市民の皆さんと一体となった取り組みを進めていきます。11月27日には、福祉や教育などの市民生活に身近な分野から産業振興、都市基盤整備など、まちづくり全般に関する計画案を審議し、市長に答申を行う「鹿屋市総合計画審

議会」の第一回の会議が開催され、この中で山下市長は「地域の資源や特性を生かした地域経済の活性化に主眼を置き、大隅地域はもとより、県土の均衡ある発展をリードするまちづくりを目指したい」とあいさつしました。審議会は、関係行政機関の職員や地域協議会会長、各種団体の代表者など30人の委員で構成し、会長に鹿屋商工会議所の岡崎継

義会頭、副会長に市社会福祉協議会の山下求会長が選出されました。

市民参画や策定スケジュールに関する詳細な情報は、今後、市の広報やホームページ等でお知らせしていきます。

【問い合わせ先】

市企画調整課

0994・31・1125